

番組及び映像上映、特別企画スケジュール

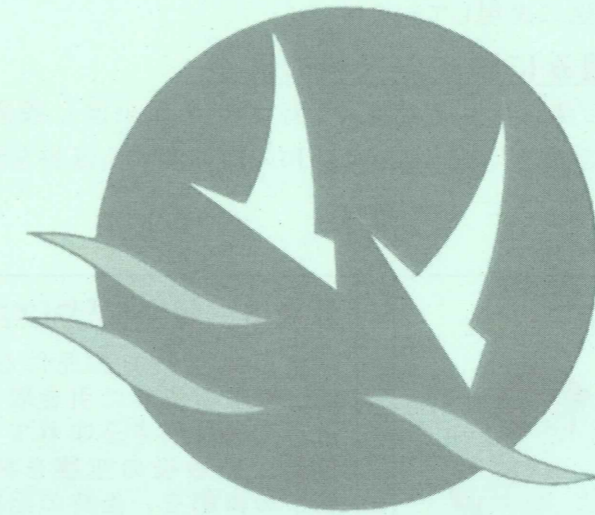
会場：7階 メディアセブン プレゼンテーションスタジオ

入場無料

| | 16日(土) | 17日(日) | 18日(月) | 19日(火) | 20日(水) |
|-------|--|---|---|---|---|
| 9:00 | | | | | |
| 9:30 | | | | | |
| 10:00 | | 10:00 《アニメ》アゲハがとんだ (20分) | 10:00 ◇《アニメ》青い目の人形 物語(35分) | | |
| 10:30 | 10:30 オープニングセレモニー ・市長挨拶 ・昭和館見学会参加児童 の作文朗読 ・朗読者への記念品授与 ・オープニングセレモニー 特別映像上映 《映画》「母べえ」(132分) | | 11:00 ☆ETV特集 「女たちの地上戦 沖縄 埋もれた録音テープ 150時間の証言」 (59分) | 10:30 ◇《アニメ》最後の空襲 くまがや(30分) | 10:30 涙に浮かぶ記憶 戦争を 次世代へ伝えて(28分) |
| 11:00 | | | | | |
| 11:30 | | 11:30 ☆シリーズ証言記録 市民た ちの戦争 試練に耐えた「少軍隊」～宮 城・学童集団疎開の記録～ 《宮城県白石・集団学童疎 開の記録》(25分) | | 11:30 ◇戦時中の学校生活 ～生き延びた命～(21分) | 11:30 ☆NHKスペシャル 「知られざる衝撃波 ～長崎原爆・マツハス テムの脅威～」(49分) |
| 12:00 | | | | | |
| 12:30 | | | | 12:30 ☆NHKスペシャル 「知られざる衝撃波 ～長崎原爆・マツハス テムの脅威～」(49分) | |
| 13:00 | | 13:00 ☆NHKスペシャル 「知られざる衝撃波 ～長崎原爆・マツハス テムの脅威～」(49分) | 13:00 《映画》「硫黄島からの 手紙」(141分) | | 13:00 ☆シリーズ証言記録 市民た ちの戦争 試練に耐えた「少軍隊」～宮 城・学童集団疎開の記録～ 《宮城県白石・集団学童疎 開の記録》(25分) |
| 13:30 | | | | | |
| 14:00 | 14:00 ☆シリーズ証言記録 市民た ちの戦争 試練に耐えた「少軍隊」～宮 城・学童集団疎開の記録～ 《宮城県白石・集団学童疎 開の記録》(25分) | | | 14:00 ☆ETV特集 「女たちの地上戦 沖縄 埋もれた録音テープ 150時間の証言」 (59分) | |
| 14:30 | | 14:15 《アニメ》一つの花(11分) | | | |
| 15:00 | | 15:00 ◎【特別企画】図書館司書 による平和展ブックトーク | ©Warner Bros. Entertainment Inc. and Dreamworks LLC. All rights reserved. | | 15:00 《アニメ》いわたくんちの おばあちゃん(20分) |
| 15:30 | 15:30 ☆ETV特集 「女たちの地上戦 沖縄 埋もれた録音テープ 150時間の証言」 (59分) | | | 15:30 映画《アニメ》あしたの元氣に な～れ！ 半分のさつまい も(90分) | |
| 16:00 | | | 16:00 ◎【特別企画】図書館司書 による平和展ブックトーク | | 16:00 ◇《アニメ》最後の空襲 くまがや(30分) |
| 16:30 | | 16:30 ◇《アニメ》青い目の人形 物語(35分) | | | |
| 17:00 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ☆・・・NHK番組 ◇・・・埼玉ピースミュージアム制作番組 ◎・・・中央図書館主催 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 問い合わせ・・・川口市総務課 048-259-9021 </div> | | | | |
| 17:30 | | | | | |
| 18:00 | | | | | |
| 18:30 | | | | | |
| 19:00 | | | | | |
| 19:30 | | | | | |
| 20:00 | | | | | |
| 20:30 | | | | | |

川口市平和展

～未来へ伝える平和の大切さ～



川口市平和都市宣言シンボルマーク

日時 7月16日(土)～20日(水)
 [16日(土)～18日(月) 9:00～18:00]
 [19日(火)・20日(水) 10:00～21:00]

会場 川口市立中央図書館・メディアセブン
 入場無料

主催 川口市
 協力 NHK
 後援 埼玉県・川口市教育委員会

展示資料等のご紹介

○戦中・戦後の時代背景に関する資料の展示

当時の川口市の様子や、「埼玉ピースミュージアム」や「昭和館」の所蔵品から、戦中から戦後にかけての生活や世相について解説したパネルや実物資料を展示します。

○ヒロシマ・ナガサキの原爆資料の展示

「広島平和記念資料館」や「長崎原爆資料館」の所蔵品から、広島・長崎の原爆被害の状況や脅威について解説した写真を展示します。

○「昭和館見学会」参加児童の作品展

今年5月に、川口市内の子どもたちが東京都千代田区にある昭和館などを見学しました。そこで平和について感じたことを作文や絵に表現しています。

○川口市の平和への取り組みに関する資料の展示

川口市が加盟する平和首長会議に関する資料や、青木町平和公園に設置された平和記念碑、川口市平和都市宣言30周年を記念して植樹した平和の樹に関する資料を展示します。

《映像プログラムの紹介》

青い目の人形物語[アニメ] (35分)

米国からの平和の親善大使として贈られたものの、戦時下の厳しい環境のなかで、敵性人形とみなされた青い目の人形。この人形と子どもたちの交流をともし



て、戦争がもたらすゆがんだ社会とそれにほんろうされる庶民の苦しみを描き、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴えています。

アゲハがとんだ[アニメ] (20分)

空襲を避けるため学童疎開していた子どもたちが、卒業式のために東京に戻ってくると大空襲に見舞われます。悲惨な体験をする子どもたちを描いたアニメーション作品です。

あした元気になる～れ!

半分のさつまいも[アニメ] (90分)

東京大空襲で兄以外の家族を失い、戦災孤児となったかよ子。終戦直後の貧困と不安の時代に、明るくたくましく生き抜いていく兄妹の姿を描いています。主人公かよ子の声を上戸彩が演じています。



最後の空襲くまがや[アニメ] (30分)

東京大空襲で孤児になってしまった幸子は、熊谷の叔父に引き取られますが、ここで再び空襲に巻き込まれてしまいます。第二次世界大戦最後の空襲を終戦前夜に受けた熊谷市の惨劇を、当時の記録、体験者の話や手記を忠実に参照して描いた短編アニメーションです。

いわたくんちのおばあちゃん[アニメ] (20分)

現代の小学生の主人公寛太は友達のおばあちゃん(ちづこさん)の話を聞くうちに、原爆のことや戦争のことを自分の問題としてとらえ、平和への決意をしていきます。

一つの花[アニメ] (11分)

片言しか話せないゆみ子の口癖は「ひとつだけちょうだい」でした。食べるものが不足していた戦争の激しかった頃の物語です。

涙に浮かぶ記憶

戦争を次世代へ伝えて (28分)

なぜ日本は戦争を止められなかったのか? 疑問を持った中学生の女の子が、戦争体験者の曾祖父や、元特攻隊員、元兵士から話を聞き、戦争拡大の足跡を資料映像で巡っていきます。

上映時間は、スケジュールをご覧ください。

NHK平和アーカイブス

上映番組

【上映場所】メディアセブン(7階) プレゼンテーションスタジオ

NHKの番組公開ライブラリーでは、平和の尊さを訴える番組を「平和アーカイブス」として公開しています。今回はこの「平和アーカイブス」から3本をご覧ください。

ETV 特集「女たちの地上戦 沖縄 埋もれた録音テープ 150時間の証言」

2009年1月25日放送(59分)



20万人が亡くなった沖縄戦。激しい地上戦を生き抜いた住民たちの証言をおさめた、およそ150時間分に及ぶ録音テープが沖縄県公文書館に保存されている。証言はまだ戦争の記憶が生々しかった1960年代から収集され、特に戦場に取り残された女性たちが凄惨(せいさん)な体験を語っている。自らの手の中でわが子を餓死させてしまった母、負傷兵が次々と運ばれる野戦病院で看護にあたった女性。収録されてから長い間未公開だった貴重な録音テープをもとに、女性たちの沖縄戦を描いた。

シリーズ証言記録 市民たちの戦争 試練に耐えた「少軍隊」

～宮城・学童集団疎開の記録～ (「宮城県白石・集団学童疎開の記録」)

2010年4月25日放送(25分)



1944年9月、浅草の国民学校の児童約350人が宮城県白石に疎開した。初めて体験する東北の寒さ、深刻化する食糧不足の中で、厳しい疎開生活だった。1945年3月、卒業式のために6年生約100人が帰京、3月10日に下町を襲った東京大空襲で多数の児童が命を落とす。白石に残った児童の多くは親を失い、戦災孤児となった。児童たちの証言で、疎開生活の実態と空襲の悲劇に迫る。

NHKスペシャル「知られざる衝撃波～長崎原爆・マッハSTEMの脅威～」

2014年8月18日放送(49分)



1945年、長崎に投下された原子爆弾。被爆直後の死者のおよそ半数は、爆風が原因と見られているが、詳しいことはわかっていない。2013年、爆風による破壊を解明する手がかりが見つかった。爆心地から遠ざかるほど爆風が威力を増す「マッハSTEM」という現象を捉えた一枚の地図。取材を進めるとアメリカがマッハSTEMの破壊力を事前に計算し、意図的に利用したことが明らかになった。長崎を襲った衝撃波マッハSTEMの脅威に迫る。